

1 単元名 明治用水を開く

2 単元目標

- (1) 地域にある歴史さがしをすすんで行き、自分たちが住んでいる地域に興味をもつことで、地域への愛着を育てる。
- (2) 明治用水が必要だったわけや、用水の完成によってその後の人々の生活がどのように変化したのかを考えることができる。
- (3) 用水を開いた先人の知恵・工夫・苦勞・働きを調べ、町の発展に尽くした人々について理解し、郷土に対する誇りと地域の一員としての自覚を育てる。

3 単元の評価規準

[社会的事象への関心・意欲・態度]

- ・まちにある歴史さがしをすすんで行き、調べたことを意欲的に伝えることができる。

[社会的な思考・判断]

- ・明治用水が必要だったわけや用水の完成によってその後の人々の生活がどのように変化したのかを考えることができる。

[観察・資料活用の技能・表現]

- ・用水を開いた先人の知恵・工夫・苦勞・働きを聞き取りや見学を通して調べることができる。

[社会的事象についての知識・理解]

- ・明治用水を開き、町の発展に尽くした人々について理解することができる。

4 指導計画（11時間完了） 網掛け部分は、家庭学習を前提とする

時間	学習活動	指導上の留意事項
家庭 0	<ul style="list-style-type: none"> 「安城のまちのれきしさがしをしよう」と提案し、まちにある“歴史”を調べる。 	【エースネットのコンテンツの活用】 <ul style="list-style-type: none"> エースネットの安城のページを紹介し、参考にさせる。 歴史は、碑や銅像、地名などからもわかるなど、歴史さがしのヒントを伝える。
2	<ul style="list-style-type: none"> 「安城のまちのれきしさがし」を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> OHCやプロジェクターを使って画面で示し、みんなで確認できるようにする。 市内にある2つの銅像（都築弥厚，山崎延吉）に着目させ、「明治用水」や「農業」などのことば意識づける。
6	<ul style="list-style-type: none"> 明治用水とは、どんな用水だろうかを調べる。 (グループごとに課題設定) 	【エースネットのコンテンツの活用】 <ul style="list-style-type: none"> エースネットの「都築弥厚」，「伊豫田与八郎」，「明治用水の開発」を利用するとともに、安城市にある明治用水会館へ聞き取り・見学に行く。
	<ul style="list-style-type: none"> どこを通っているのだろうか？ だれがいつつくったのだろうか？ なぜ必要だったのだろうか？ つくるのにどのような苦労や工夫があったのだろうか 用水の完成によってどのような変化が起こったのだろうか？ 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 明治用水について調べたことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに課題設定したテーマにもとづいて発表させる。
1	<ul style="list-style-type: none"> 明治用水の完成によって、人人の生活がどのように変わったのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治用水の完成が、荒れた台地から水田地帯へと変わり農業が盛んになったことを当時の資料を示すことで、気づけるようにする。 【エースネットのコンテンツの活用】 <ul style="list-style-type: none"> エースネットの「山崎延吉」や安城市産業文化公園デンパークを通して、安城が「日本のデンマーク」と呼ばれるようになったことに気づかせたい。